

れんけい だより

Vol. 72

国家公務員 横須賀共済病院 広報誌
共済組合連合会

地域医療支援病院

救命救急センター

周産期母子医療センター

臨床研修指定病院

地域がん診療連携拠点病院

がんゲノム医療連携病院

神奈川 DMAT 指定病院

神奈川県災害医療拠点病院

DPC 特定病院群

病院機能評価(3rdGVer.1.1)



新年のごあいさつ

CONTENTS

新年のごあいさつ	P 2
地域医療構想 みうら半島の明日を考える	P 3
診療科部長に聞く	P 4
部署探訪	P 6
感謝祭～感謝エールを交換しよう～	P 8
がん教育～高校生に対するがん教育～	P 10
がん診療の取り組み	P 11



COVID-19 診療の 振り返り

新年明けましておめでとうございます。連携いただくみなさまには、常日ごろからご協力いただき深く感謝いたしております。

さて、12月10日現在、COVID-19は神奈川県もフェーズ1と落ち着いており、VOCのオミクロン株もまだ席卷しておらず、ほぼ2年になる診療を検証するタイミングかもしれません。

COVID-19は、三匹の子ぶたの家に猛烈な息を吹きかけるオオカミのように、耐えられるレンガの家と簡単に崩壊する藁の家とを、峻烈にあぶり出しました。それぞれの組織や病院のみならず、国レベルにおいてすら。

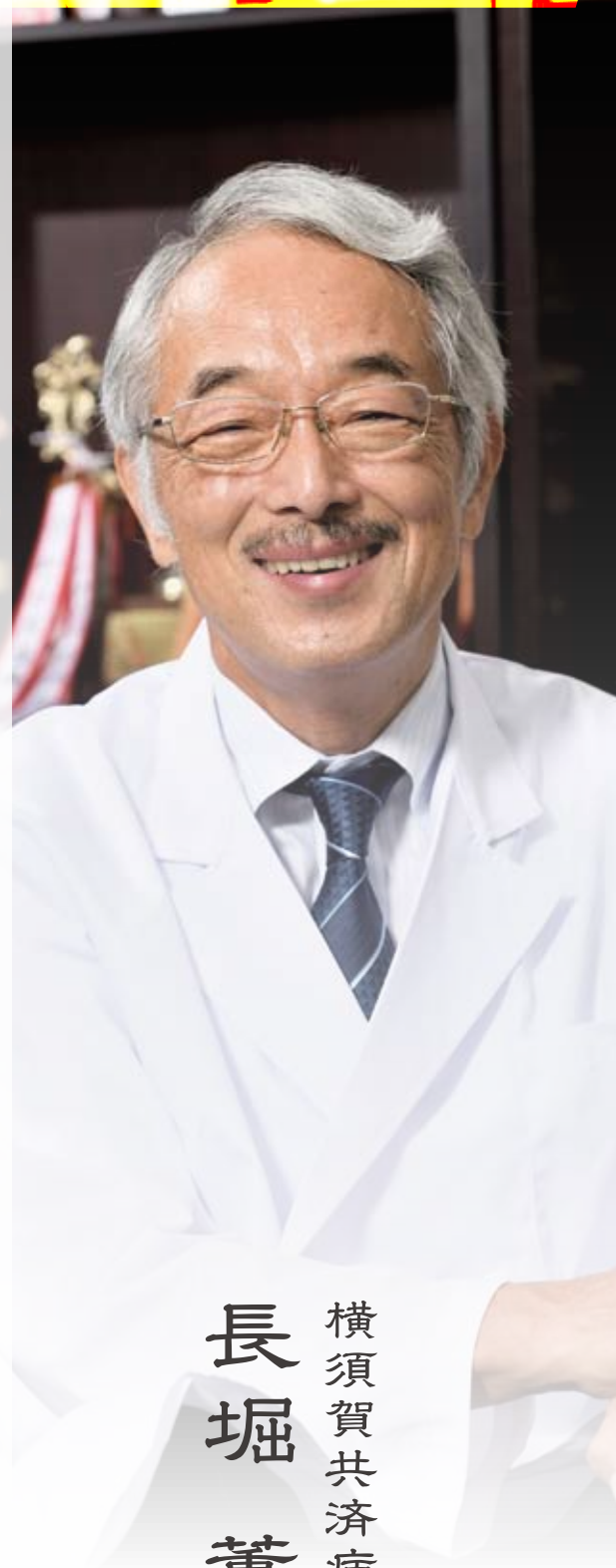
残念ながら、日本の致命的に遅れたテクノロジーと脆弱なガバナンスが明らかになりました。PCR検査は進まず、ワクチンも開発できず、報告などFAXで行い、本当に有効なコロナベッド数も把握できない。経済との両立も重要な課題ながら、GoToキャンペーンや国家の祭典など試みる度に、目を覆わんばかりのベッドの逼迫を招き、説得力のないメディアリリースが繰り返された。

しかし、光明も見えます。日本人の国民性と衛生意識の高さです。いざ始まったら、8割以上がワクチン接種し、マスク着用や手洗いなど整然と守る。忍耐力や協調性が改めて示され、強権や罰則など無くともコロナ収束へと意思を統一できる。人口が減少し、このままでは衰退する日本を救える美点かもしれません。

三浦半島においても素晴らしい連携が見られました。COVID-19を受け入れる4病院、下り搬送も4病院となり、家での見守りは有力な在宅診療所群があり、医師会を中心にPCR検査やワクチン接種が進められた。入院患者については重点病院の市民病院が中等症を受け入れ、重症化したら当院の救命救急センターに移り、改善したら戻るか下り搬送と、機能分化してのネットワーク化が進み、地域医療構想の先取りとなりました。

患者さんを守るシステムが強化できたことは、この厳しい環境の中でのメリットではないでしょうか。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



横須賀共済病院
院長
長堀 薫

地域医療構想 みうら半島の明日を考える

三浦半島病院会の主催で地域医療構想講演会が開催されました。講師はハイズ株式会社 代表取締役社長 慶應義塾大学特任教授 裴 英洙先生に今注目されている医療機関による働き方改革についての最新動向についてご講演いただきました。本会場（セントラルホテル）には、医師会の先生方・地域の各病院幹部・神奈川県各市町村の幹部市議会議員の方など40名ほど、WEBでは100名を超える方に視聴いただきました。



三浦半島病院会 会長 長堀 薫

1. 開催挨拶

三浦半島病院会 会長 長堀 薫

2. 来賓代表挨拶

神奈川県健康医療局 兼 未病担当局 局長
山田 健司【オンライン参加】
横須賀市医師会 会長 三屋 公紀

3. 来賓紹介

4. 地域医療構想

みうら半島の明日を考える Part7

医療機関における働き方改革の最新動向 ～地域医療構想を踏まえて～

- 座長 - 三浦半島病院会 会長 長堀 薫

- 講師 - ハイズ株式会社 代表取締役社長
慶應義塾大学特任教授 裴 英洙 先生

5. 閉会挨拶

神奈川県病院協会 会長 吉田 勝明



横須賀市医師会 会長 三屋 公紀



神奈川県病院協会 会長 吉田 勝明



診療科部長

第18弾

拡大版

脳神経外科

に聞く



診療部長
脳神経外科 部長
田中 良英

「地域連携！」 皆様と共に！

脳神経外科のウリについてお聞かせください。

2006年12月1日に脳神経外科部長に着任し、早くも15年が経過いたしました。当時は脳神経外科医3名の弱小チームでしたが、今は9名体制で治療にあたっています。脳神経外科の主な疾患は、①脳血管障害 ②脳腫瘍 ③外傷 ④その他（脊髄脊椎疾患や機能的治療）ですが、年々我々が携わる患者数は増加し、現在は年間入院患者1,200名、手術症例は650件以上と増加し県内でもトップクラスの実績を出しています。このように当院脳神経外科が成長できているのも、皆様のご指導や協力があったの事であり、大変感謝しております。

「医療の基本は地域医療!」「地域で発症した患者さんはすべて地域で治療の完結を!」これが私の考えです。急性期に携わる我々は、時を空けることなく常時急患に対応可能です。必要の際は躊躇なくご連絡ください。また着任当初より地域医療連携を重視し構築してきました。11月24日に開催した第14回 Brain Attack Network(BAN) 総会は、COVID-19により残念ながらHybrid講演会形式となってしまいましたが、現地参加とOn line含めて100名以上の方々にご視聴いただきました。状況が許せば、来年の会を待たずに皆様とお会いする懇親の場を作りたいと願っております。また毎週火曜日に入院患者の病棟多職種カンファランスには、他施設からも参加していただいておりますが、COVID-19を契機にOn lineでも参加できるようにいたしました。

2014年に発足したベトナム交流事業は、時勢により渡航が難しい状況ですが、On line International Conferenceを定期開催しております。制限が緩和されてきているのでいよいよ再開が期待できそうです。

最近のプライベートの楽しみを教えてください。

今年の春に膝関節鏡の手術を受けました。もともと旅行が趣味ですが、最近はりハビリを兼ねて登山やトレッキングに行く機会が増えています。

地域の先生方にメッセージをお願いします。

皆様と共に、誇れる地域医療をさらに発展させたいと思います。宜しくお願い致します。

Profile

出身校

横浜市立大学 医学部
平成5年(1993年) 卒

専門領域

脳神経外科手術全般

学会専門医資格

日本脳神経外科学会 認定医・指導医 他
受賞歴: Medal for people's health
of MoH of Vietnam (2017)



手術風景

ベトナムでの指導風景

脳神経外科医師インタビュー

副部長
綾部 純一



日頃より大変お世話になっております。脳血管障害治療は、虚血性・出血性いずれも、deviceの進化と共に多様化しています。従来の治療を基礎とし、新たな治療法を取り入れ、個々の患者さんに対して適切な確かな治療を心がけております。質の高い治療を提供し、横須賀三浦地域に貢献できるよう研鑽を積み重ねております。

専門領域

脳血管障害
学会専門医資格
日本脳神経外科学会 専門医
日本脳卒中の外科技術指導医
日本脳神経血管内治療学会 指導医
日本脳卒中学会 指導医

経歴

横浜市立大学
平成12年(2000年) 卒

医長
三島 弘之



2013年より当院に勤務しております。脳神経外科といえば顕微鏡であった時代も変化し、私のサブスペシャリティである内視鏡による治療適応も年々拡大しております。適応相談も含めてご紹介いただければと思います。

専門領域

脳神経外科治療全般 神経内視鏡
学会専門医資格
日本脳神経外科学会 専門医
日本神経内視鏡学会 技術認定医
日本脊髄外科学会 認定医
血栓回収療法 実施医

経歴

弘前大学
平成20年(2008年) 卒



医師
土屋 雄介

日頃より、多くの患者さんのご紹介ありがとうございます。脳神経外科疾患は当院だけで完結できることは少なく、連携医療機関との結びつきが大事だと考えております。今後もよろしくお願いします。

専門領域

脳神経外科一般
学会専門医資格
日本脳神経外科学会 専門医
日本神経内視鏡学会 技術認定医
日本脳卒中学会 認定脳卒中専門医
血栓回収療法実施医

経歴

横浜市立大学
平成24年(2012年) 卒



医師
川崎 泰輔

日頃より患者さんのご紹介のほど、誠にありがとうございます。脳神経外科一般を担当しております。急を要する疾患も多く、救急科と連携の上、診療に取り組んでおります。脳の疾患で、悩まれている患者さんは多いかと存じます。地域の先生方と連携して、地域医療の向上に貢献して参りますのでよろしくお願いいたします。

専門領域

脳神経外科一般 脳神経血管内治療
学会専門医資格
日本脳神経外科学会 専門医
日本脳神経血管内治療学会 専門医
日本神経内視鏡学会 技術認定医
日本脳卒中学会 専門医

経歴

横浜市立大学
平成24年(2012年) 卒



部署探訪

中央手術室

チームで最高の手術医療を目指す

中央手術室では2019年手術総数7,337（麻酔科管理：5,493）件を行っており、全国レベルでも34位と有数の手術を行っています。

当院の特徴は手術室入室時間が予定を組む（緊急手術は申し込みの）段階で決まっています、いつ呼ばれるかわからないという患者さんの不安がないことです。また、実際に入室時間が遅れることもほとんどありません。その要因は、的確な手術をする術者の先生方をはじめ麻酔科医、看護師、臨床工学技士および環境整備を担当するコメディカルチームワークにより15ある手術室を有効に運用できるからです。このチームワークを大切に、今後も患者さんとともに最高の手術医療を目指して参りますのでよろしくお願いいたします。



病院長特別補佐
麻酔科部長
住友 正和



看護師長
高橋 良江

温かい看護を
目指しています



心臓血管外科の手術風景



手術支援ロボット（ダヴィンチ）
の手術風景



産婦人科の手術風景



感謝祭

～感謝エールを交換しよう～

コロナ禍に、医療従事者支援をしていただいた飲食店の皆様に対し、
今回は、病院が商品を購入して共に頑張った職員がいただく「感謝祭」を開催しました。

当日は、カレーや焼きそばなどのキッチンカーや、焼き菓子・和菓子屋さんにもご参加いただき約 800 名の職員が思い思いの商品を受け取りました。

まだまだ、以前の生活に戻れない状況で全てテイクアウト・院外での開催でしたが参加いただいた皆様・職員全てが笑顔のあふれる時間でした。

横須賀共済病院 ブランド推進室



がん教育

～高校生に対するがん教育～

2021年11月5日（金）神奈川県立横須賀南高等学校にて、
がん教育についての講義を行いました。

高校生に対し、がんはどんな病気なのか、予防・早期発見・治療法など
医師とがん看護専門看護師の経験を踏まえ、
正しい知識と理解を学んでいただく機会をもちたいと考えます。



神奈川県立横須賀南高等学校 田中教諭よりコメントを頂きました！



神奈川県立横須賀南高等学校
福祉科
田中 幸子 教諭

告知の時からスタートするという「緩和ケア」のお話は、生徒の心にも響いたようで、看護を志す者も多い中、大変よい刺激となりました。

地域の中心的な医療機関でありながら生徒の日常からは離れた存在なので、このような授業は、医療だけでなく地域への興味・関心をも高めることに役立ちました。

ご多忙の中、ありがとうございました。

がん診療の取り組み

2019年のがん登録、県内拠点病院19施設中
横須賀共済病院は8番目の登録数です。

【上位6施設（大学病院）・1施設（総合病院）】

院内がん登録について（2019年）

院内がん登録とは、がんの診断・治療を受けた患者さんについて、がんの部位や種類、病期、治療内容（手術、抗がん剤、放射線など）、受診経緯、予後（生存確認）に関する情報を集める仕組みで、がん診療の質の向上と、がん患者さんの支援に役立てることを目的としています。地域がん診療連携拠点病院である当院は、この院内がん登録を積極的に進めるとともに、神奈川県（地域）や国（全国集計）へ登録情報を提供し、がん対策に協力しています。

登録件数 2,409 件

*男女の内訳は、男性が1,386件、女性が1,023件。

がんの発生部位別登録数

年間の院内がん登録を部位別に見ますと、肺がんが最も多く、次いで乳がん、前立腺がん、胃がん、結腸がんの順に多い。

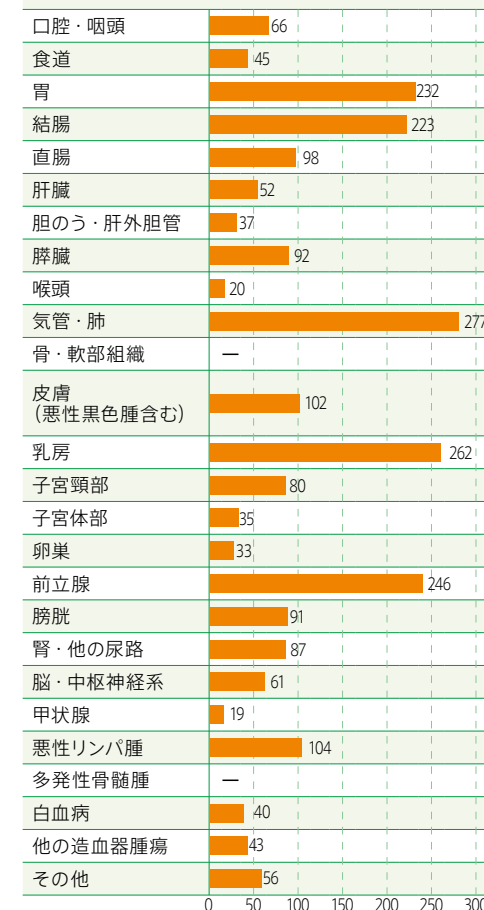
がんの発生部位別登録数（男性）

前立腺がんが最も多く、次いで、肺がん、胃がん、結腸がん、膀胱がん、の順に多い。

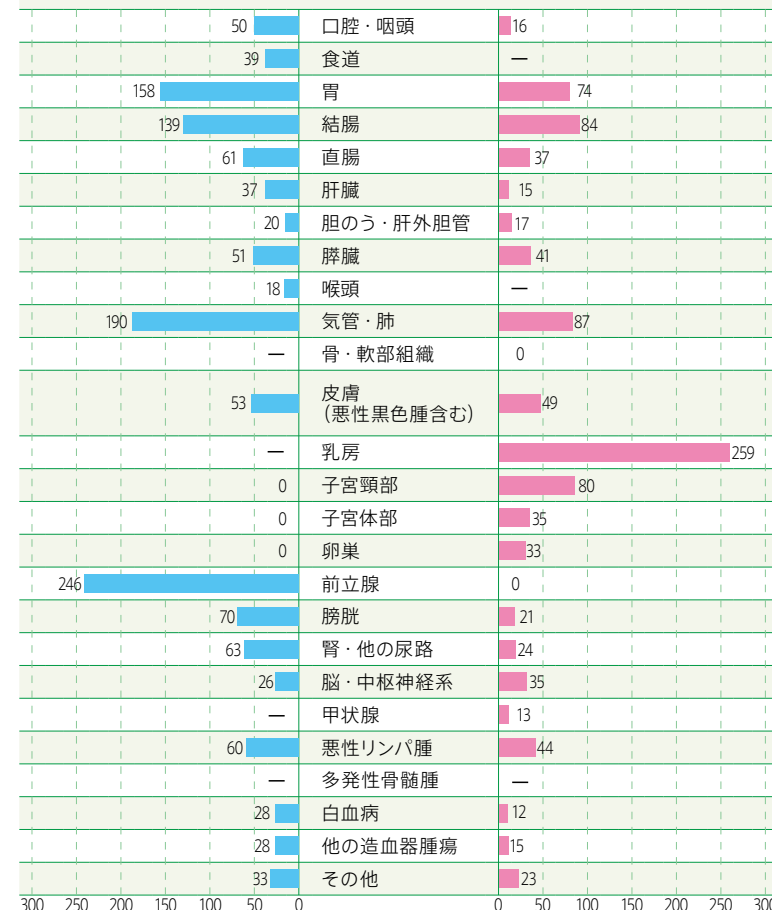
がんの発生部位別登録数（女性）

乳がんが最も多く、次いで、肺がん、結腸がん、子宮頸がん、胃がんの順に多い。

部位別 登録数（上皮内癌を含む）



部位別・性別 登録数（上皮内癌を含む）



10件未満については表示していません。 ■ 男性 ■ 女性

「横須賀共済病院 YouTube チャンネル」お知らせ

当院では動画配信サイトYouTubeに公式チャンネルを開設いたしましたのでお知らせいたします。



開設日	2022年1月14日(金)
開設の目的	市民公開講座
URL	https://www.ykh.gr.jp/
初回配信内容	感染症対策～日常生活に大切なこと 感染管理認定看護師 下川結花



退職医師

2021年12月1日付

■外科・・・下澤 元晴

2021年12月31日付

■脳神経外科・・・渡邊 正英

理 念

よかった。
この病院で

患者さん・家族・職員
すべての人が安心できる
病院をめざします

編集後記

新年あけましておめでとうございます。毎日厳しい寒さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、本年は寅年です。寅(とら)のように勇猛果敢に、変化を恐れず勇気をもって進むことによって、「新しい成果の礎となる年」と言われています。

皆様にとって“笑ガオ～”の溢れる一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

本年も横須賀共済病院とれんけいだよりを、よろしく願っています。

地域連携室 山田・宮坂・加藤

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16
TEL 046-822-2710(代表) FAX 046-825-2103(代表)

地域連携センター地域連携室

TEL 046-827-1117(直通) FAX 046-823-5020(直通)

YKH れんけいだより Vol.72

発行日：2022年(令和4年)1月28日
編集：地域連携センター地域連携室